

## 見附市教育センターだより



〒954-0052

見附市学校町2-7-9

電話/Fax 0258-62-2343

E-mail [mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp](mailto:mrisen@mitsuke-ngt.ed.jp)

令和6年3月15日 NO.12

6年生を送る会（1年生ダンス）

3月1日；名木野小学校

## 「冬来たりなば春遠からじ」

教育センター運営委員（田井小学校:校長） 笠原 健児



厳しい冬がやって来たならば、次には暖かな春がついそこまで来ている。どんなに現在が不遇であっても、その先には明るい希望の日々が待っているという意味です。新採用の学校を離任する際、大先輩の先生からいただいた言葉です。失敗だらけの3年間で、子どもたち、先生方、保護者の方々に支えられた新採用時代でした。この言葉をいただき、今まで自分なりに一生懸命取り組んできたことを思い出し、これからも頑張っていこうと思いを新たにしました。

季節は冬を越え、今まさに春を迎えようとしています。出会いと別れの季節です。

卒業式は勿論ですが、多くのクラスにおいても学級を閉じる「学級じまい」を行い、子どもたちとの別れを迎え、それまでの日々の積み重ねに思いを馳せていることでしょうか。1年間の道のりは決して平坦ではなく、時には、厳しい出来事や現実に打ちのめされることもあったことと思います。

ですが、節目として、今、別れの時を迎えます。私たち教師はそんな別れ、そして、その後に訪れる新しい出会いによって生きているとも言えるのではないのでしょうか。

早稲田大学の小林宏己教授は、講演の中で、「小学校教諭時代の教え子に出会い、『先生、お久しぶりです。』と声をかけられた。教え子の成長した姿を見て、自分はそんな些細なことを喜びとして生きている。」と言われました。私も共感します。

この時期は、人と人が織りなす教育という尊い営みの素晴らしさを、最も感じる季節です。出会った一人一人の前途の幸せを祈り、そしてまた、新しく出会う児童生徒との織り始めを大事にして、新しい道りを歩んでいきたいものです。教師という職業に誇りをもち、高い志をもつ仲間が、この見附市には大勢います。

私たち教師と子どもたちが、学校生活の中で一緒になって取り組んだり、喜んだり、時には悩んだり、つまずいたりしながら過ごす日々を積み重ねていきましょう。

これこそが、「子育てするならやっぱり見附」を、より強く、確かなものにしていくことと思います。別れを糧にして、新しい出会いを求めて、歩みを進めてまいりましょう。

巻頭写真に寄せて

## 子どもたちの姿に、胸が熱くなる

◇3月1日(金)、名木野小の「6年生を送る会」を参観しました。今年度、同校が私の師がくの担当校でなかったため、春の運動会の応援に行きついでに以来の訪問で、この日を楽しみにしていました。

◇卒業する6年生に感謝する「6年生を送る会」は、児童会を引き継いだ5年生が企画立案をして、運営する気合い入りまくりの会です。どこの小学校も、大盛り上がりになる大イベントです。(2月末実施の中学校の「3年生を送る会」も同じだと思います。)

◇体育館は、全校児童、職員、6年生の保護者も多く来場され、いっぱいです。開会拍手の中、6年生が一人ずつ紹介されて紙吹雪の中をお立ち台に上がり、各自がパフォーマンスを行って入場し、いい雰囲気になって始まりました。最初に、児童会歌「草薙会の歌」が歌われ、その後、学年順に歌やダンス、クイズ、メッセージ等、心のこもった出し物が続きました。どの出し物も、6年生から教えてもらったり助けてもらったりしたことへのお礼の気持ちが伝わる素晴らしい発表で、6年生(写真上)は、真剣に鑑賞し声援していました。私も昨年、師がく訪問の度に、とても個性豊かで、全員での行動が不得意であった低学年の子どもが、立派に発表する姿に感心しました。そして、私はセンター日より6月号の「運動会」で書きましたが、6年生が大好きなのです。

◇それは、この6年生が3年生の時に、校長先生から師がくの他に、通年で「授業(子どもたちの様子)を見に来ませんか」と、嬉しい誘いを受けて以来、昨年まで授業参観だけではなく、休み時間も子どもたちと触れ合ってきましたので、6年生への思いが強いのです。ですから、6年生の発表「アニメの主題歌&ダンス」(写真下)では、大きく成長した子どもたちの姿に、胸がとても熱くなりました。さらに、終了後にサプライズです。6学年主任のF先生が、私に「子どもたちに話をして…」と、言って下さったのです。6年生を送る会の参観だけで大満足でしたのに、子どもたちに、はなむけの言葉まで述べさせて頂いて、最高の一日になりました。



## コラム = 「子どもガチャ」などない もっと学んでほしい =

◇年度末の3月は、学校行事最大の「卒業式」に向けて、全校で全力投球。その後、子どもたちの成長に感動と別れの寂しさに浸る間もなく、中学校では高校入試。2年生の修学旅行…。小学校でも卒業式の翌日には終業式・離任式と続き、一年間の学級経営や学習指導等について、振り返る余裕はないでしょうが、ぜひ振り返って欲しいものです。特に若い先生で、初任校や二校目を終えられ、転勤となる先生は、この3年間の取り組みを、振り返って欲しいです。

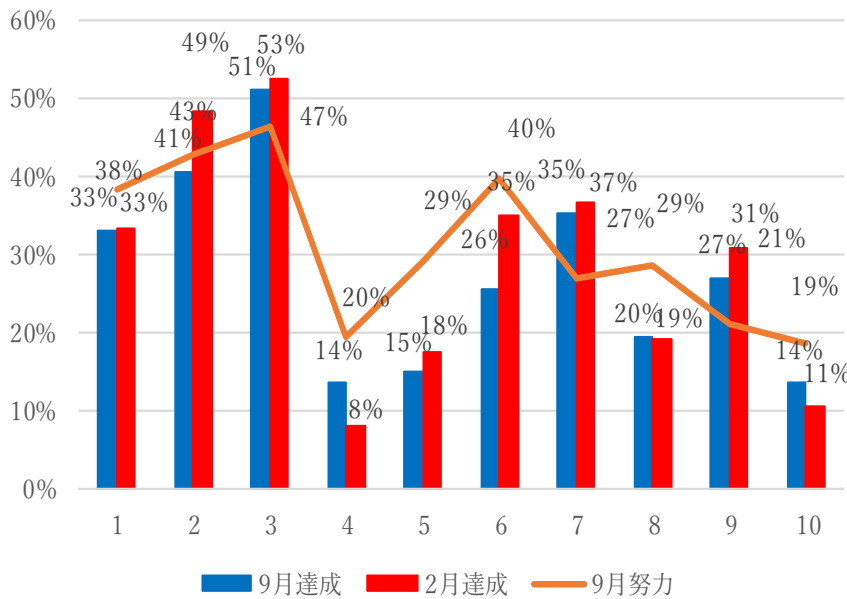
◇師がくで一步教室へ入ると、「いい授業が行われるな」と、感じる学級があります。活気があり、子どもたちも授業者も明るいのです。そして、間違いなく算数でも国語でも他の教科でも、いい授業が展開されます。ところが、教室が整頓されていない。授業者は準備ができていないのに、ガサガサして学習準備が出来ていない。学習する雰囲気になっていない学級があります。授業は勿論、上手いきません。授業後の話し合いで、本時のねらいや活動の流れ、子どもの様子等を一緒に振り返り、アドバイスさせて頂き、その中で、学級づくりの大切さについて話します。すると、『私の学級は大変なんです。隣の学級は…』という人がおります。上手いいかない原因を、自分以外に考えています。成長するには、授業や学級経営を振り返り、もっと教材研究や指導技術の向上を図る努力をする。子ども一人一人を見つめよく知る。良好な人間関係のある学級づくりのための学びをする等を頑張りたいです。「はずれガチャ」の学級はないです。自分を磨き高めて、子どもたちの良さを引き出せる教師になってください。期待をしています。(こ)





# 令和5年度「指導力向上ドック」の結果から

## R5 見附教師の10か条 達成状況自己評価



**学力向上**に向けて  
授業中にこれだけは**大切**にしたい

### 見附 教師の10か条

- ① 児童生徒の問いや願いを大切に授業を行います。
- ② 意図が明確な発問とわかりやすい指示を行います。
- ③ 関心意欲を高め、学びを深める教材や教具の活用を工夫します。
- ④ 考えの相違やつながりを明確にするなど、思考を深める板書を行います。
- ⑤ 自他の考えを言語化したり、学びを可視化して、考えを深める授業を行います。
- ⑥ 児童生徒同士や教師との対話的な学びを生かして、授業を進めます。
- ⑦ 学習内容に応じて、学習形態を工夫します。
- ⑧ 基礎基本の定着とともに、活用力の向上を図る場を充実させます。
- ⑨ 机間支援で一人一人の学習状況を把握し、個別の支援に生かします。
- ⑩ 本時の振り返りやまとめを行い、次時や家庭学習につなげます。

日頃から意識して、大切にします！  
「学力向上」の土台

- 深い教材研究と事前準備
- 児童生徒一人一人の実態把握と日々の授業改善
- 学習意欲と集中力を高める学習環境づくり
- 学習規律やルールの定着
- 適切な人間関係が築かれた話し合い、高めあふ集団づくり
- 児童生徒の模範となるような活動
- 児童生徒を引き付けるような話し方、視線、表情



【見附市教育委員会・見附市校長会・学力向上プロジェクト推進委員会・「師がく」教育アドバイザー】

学力向上や指導力の向上のために、「師がく」との連携によって、「見附教師の10か条」を指標として自己診断する「指導力向上ドック」を集約したところ、上記の結果となりましたのでお伝えします。

### 1 目の前の児童生徒の実態に正対し、よりきめ細かい支援を行いたい教師が増えている。

9月の中間アンケートで、項目7、8を「後期の努力目標」とする教師の傾向が、前年より高まりました。（7:学習内容に応じて、学習形態を工夫する。8:基礎基本の定着とともに、活用力の向上を図る場を充実させる）全国学力・学習状況調査等から、見附の児童生徒の着実な学力の向上が見られる一方で、底上げが必要な子への支援の在り方を進めていくことも重要です。教師アンケートから、これらの実態を改善したいというニーズが高まっていると受け止めます。ただ、2月の達成目標の割合が、9月の努力目標設定値に届いていないことが気になる所です。

### 2 児童生徒一人一人の学びを確実に見取り、学習と指導と評価の一体化を目指す必要が見附市全体で求められる。

学習指導要領で示される「主体的な学び」「深い学び」には、子ども自身が「どのように自分は学んできたか」「学んだことは自分にとってこんな意味がある」と省察する場面の設定が大切であるとされています。見附教師の10か条において、項目10（振り返りやまとめを行い次時や家庭学習に繋げる）を意識する教職員の割合は、昨年よりも低下傾向にあります。各学校の授業改善の研修テーマも、様々であると受け止めますが、子どもの見取りを確実にやっているか、授業の一人一人の学びの様子を確実に見取り、評価を基に次の指導を確認しようとしているか、自校の「深い学びの姿」が共有されているか等、授業改善の視点に加えていく必要があります。

「指導力向上ドック」は、個々の教師が意識する授業改善の視点に即した客観的なアドバイスを得ることができる「師がく」と連携した取組です。「師がく」は、授業改善の視点に欠かせない、学級の様子や子ども理解の視点についても、気軽に相談できる場として位置付けています。次年度も管理職、研究主任のマネジメントの下、授業改善を進めてくださいますようお願いいたします。

## 令和5年度「4時から夢塾」実施報告

回	内 容	実施日	講 師	参加数
1	考察力を高めるために	5/31	県立教育センター 篠田英先生	20
2	幼保小の円滑な接続	6/ 2	見附教育センター 外山孝先生	24
3	運動感覚の獲得 ～遊びからの発見～	6/21	新潟県立大学 伊藤 巨志 教授	35
4	GIGA 研修 実践紹介とワークショップ	6/29	西 中学校 山崎 寛山 先生	9
5	子どもの生活習慣の改善	7/ 8	新潟大学病院 小川 洋平 医師	21
6	担任が気になる子どもへの関わり方	7/18	今町 小学校 近藤 和行 先生	32
7	子ども・保護者の話を聞こう	8/30	青葉台小学校 古田島真樹校長	35
8	GIGA 研修 タブレットを活用した算数	9/27	今町 小学校 石井 智也 先生	29
9	働き方改革とウェルビーイング	10/10	見附小 阿久津 充 総括事務主幹	28
10	示範授業 小学校国語 3年 説明文	10/18	附属長岡小学校 小湊雄一教諭	38
11	不登校の子どもの声が聞こえていますか	10/17	心と学びの相談支援センター 代表 吉沢 嘉一郎 先生	32
12	示範授業 中学校数学 1年 文字式	11/17	附属長岡中学校 白井康智教諭	10
13	示範授業 中学校国語 3年 小説	12/ 7	附属長岡中学校 伊藤 裕 教諭	14
14	示範授業 小学校算数 4年 式と計算	12/13	附属長岡小学校 瀬下真心教諭	39
15	植物栽培から教育を考えてみた	1/16	上北谷小学校 藤ノ木昌史校長	30
16	私の学んできた教職人生	2/ 8	今町小学校 吉田孝則 校長	31

合計参加数 427

### 1 今年度の重点

- 優れた実践者を招聘し、「わかる・楽しい授業」となる授業力向上を目指す講座の設定。
- GIGA スクール研修→タブレット端末活用の授業公開。
- 不登校傾向の子どもへの上手な寄り添い方講座、子どもの心身の健康講座の設定。
  - ・不登校傾向の子どもへの上手な対応研修の実施。 ・子どもの心と体の健康研修の実施。
- 運動感覚の獲得の講座は、体育館で実施指導研修として実施。



### 2 一年間を振り返って

- 夏季休業中の講座は見送ったが、講座数を16講座(昨年14)に増やし開催した。
- 幅広い分野から講師を招き、授業改善や指導力向上、資質向上を図る講座が実施できた。
- 不登校対応のために医師や民間の教育支援センター、通級指導教室担当者等による「子どもの心身の健康」「不登校傾向児への上手な対応」講座は学びが多く、有効な内容であった。
- GIGA の研修は、市内小中の優れた実践者から授業を公開して頂き参会者に刺激を与えた。
- 講座をすべて希望参加にした。学校によって参加数が大きく異なった。

### 3 次年度に向けて

- 次年度も教職員の要望に応じて、授業力や資質の向上を図る講座の開設に努めたい。
- 講座数や時間等、負担にならない実施を目指す。参加の少ない学校への働きかけが課題。

3月

# 科学教育部



《今月の1枚》  
田井小校舎

## 【誰もが使える理科室環境に~できることから少しずつ~】

年度末の事務処理などで、先生方は忙しくしていることと思います。私たちが仕事をする環境を整えることはとても大切です。理科に関しては、理科室・準備室・薬品庫などの環境を整えると、ゆとりをもって授業に臨めます。今年度、授業をしていて気になったところ、例えば、「この道具がなかった!」「教具の場所がわからない!」などを解決しておく、来年度の授業がスムーズです。

### <薬品や実験道具が不足>

今年度のうち、もしくは来年度スタート時に注文しましょう。あるいは次の担当者に確実に引き継ぎましょう。

### <教具の場所がわからない>

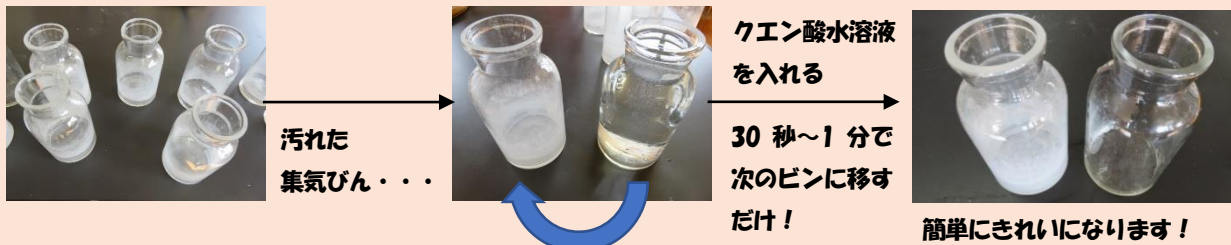
教具の在る場所がわかるように、名称を記しましょう。理想は大人も子どもも場所がわかることです。場所がわかれば、自分たちで準備ができるようになります。私たちの負担が減るとともに、考えて動ける力が育ちます。

### <不要教材を処分>

理科室の中には「いつのものだろう?」といった実験の教材として使わないものが眠っていることがあります。1年間使用しなかったものは今後も使用しない可能性が高いです。時間のあるうちに処分をしておく、理科室もスッキリします。

### <教具の汚れもきれいに>

なかなか落ちにくい汚れも薬品を使うと落としやすくなります。年度末の清掃にも役立つ薬品もあります。なぜ、その薬品で汚れが落ちるのかといったことも、生活の中にある科学です。



ひと手間かければ、先のふた手間が減ります。誰もが使える理科室環境にすることで未来への投資になります。できることから少しずつ変えていくことで、自分だけでなく、職員全体の負担が軽減されていきます。

## 【小学校の新年度の最初の学習準備】

4月になると、新しい学年での授業が始まります。もしかしたら理科を初めてもつ先生や担当学年の授業が初めてという先生もいるかと思います。今年度の内に理科主任の先生を中心に、校内全体で教材の準備を計画しましょう。各学年で考えられるものは、次の通りです。

<p>3 年 生</p>	<p>1 しぜんのかんさつ</p> <p>2 植物を育てよう</p> <p>3 かげと太陽</p> <p>4 チョウを育てよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・虫めがね, 観察板</li> <li>・ホウセンカの種, ヒマワリの種 水につけておくことで発芽率を高めることができます。 <b>↑ホウセンカは教育センター科学教育部でも400ポット程度植える予定です。</b></li> <li>・遮光板, 温度計, 方位磁針(北を指しているか) 温度計は教科書ではアナログを使用していますが, 学習指導要領ではデジタルを使用が可能になっています。 方位磁針は1年間使わないと南北が反対になっているものもあります。磁石を使って直しておきましょう。</li> <li>・キャベツの苗 モンシロチョウに卵を産ませます。 <b>↑教育センター科学教育部でも, キャベツを植える予定です。ご利用できる状態になったら案内します。</b></li> </ul>
<p>4 年 生</p>	<p>1 季節と生き物の様子</p> <p>2 1日の気温と天気</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ヘチマの種 発芽が安定しないことがあるため, 予備が多めにあると良いです。</li> <li>・温度計, 百葉箱など気温の観察道具の点検</li> </ul>
<p>5 年 生</p>	<p>1 ふりこの運動</p> <p>2 種子の発芽と成長</p> <p>3 魚のたんじょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り子の実験器 予備実験をして, 正確に動くかどうかを確かめましょう。</li> <li>・インゲンマメの種, ヘチマの種, アサガオの種 つるなしのインゲンマメを選ぶと場所を取りません。</li> <li>・メダカの水槽 メダカが安心して過ごせる水槽を用意しておきましょう。 <b>↑新年度も希望する学校にメダカを配付します。</b></li> </ul>
<p>6 年 生</p>	<p>1 ものの燃え方と空気</p> <p>2 人や動物の体</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ろうそく, マッチ, 線香, 集気びん, 石灰水, 気体検知管, 気体ボンベ(酸素, 二酸化炭素, 窒素を班の数+予備2~3本) 授業までに準備をしておきましょう。</li> <li>・でんぷんとヨウ素液, 気体検知管 <b>↑気体検知管はデジタル気体検知管を貸し出すことができます。ぜひご利用ください。</b></li> </ul>